

剣山南側の地域活性化への取組と今後の課題

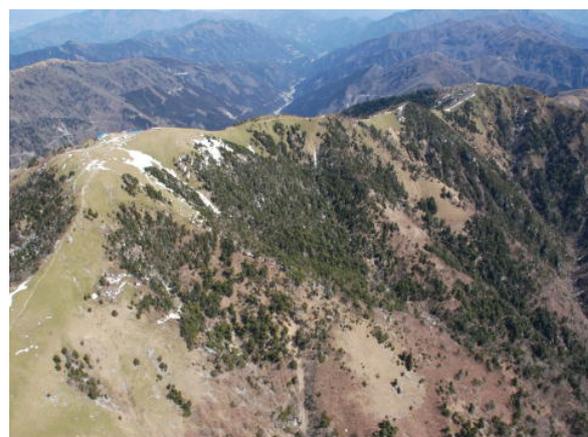
南つるぎ地域活性化協議会
会長 平井 滋^{ひらい しげる}
四国森林管理局 香川森林管理事務所
企画官 柏木 喜代幸^{かしわぎ きよゆき}
(元 徳島森林管理署)



(左から平井さん、柏木さん)

1 はじめに

南つるぎ地域活性化協議会は、那賀町を基盤とする剣山系の南側の山岳部を対象に、地元団体等と行政が連携し、「南つるぎ」の環境保全と自然の魅力発信に取り組むことを目的として平成23年8月1日に設立しました。



剣山系の南側

南つるぎ地域活性化協議会

南つるぎ地域活性化協議会の成り立ち

目的

剣山系の南側の山岳部(那賀町)を対象に、地元団体等と行政が連携し、「南つるぎ」の環境保全と自然の魅力発信に取り組む。
平成23年8月1日に成立

メンバー

徳島県、那賀町、県内登山愛好家団体、徳島森林管理署などにより構成

取り組み

観光資源としての潜在力が高い同地域の新たな魅力の創出と地域の活性化

同協議会の主なメンバーは、徳島県、那賀町、県内登山愛好家団体や徳島森林管理署などにより構成されています。

観光資源としての潜在力が高い同地域の新たな魅力の創出、地域の活性化に取り組んできた成果について発表します。

はじめに、那賀町の概要について簡単に説明します。

那賀町は、四国の右下の徳島県南部に位置し、地域の北西部に四国山地と那賀川源流域、南部には海部山脈を有し、今年国定公園50周年を迎えた剣山(1,955m)を北に控え、その登山口として知られています。面積が694.86km²森林率は95.2%を占める山間地域となっています。

平成17年3月に「鷲敷町、相生町、上那賀町、木沢村、木頭村の丹生谷(にゅうだに)の5町村」が町村合併され、



現在の那賀町が誕生しました。

平成22年度国勢調査での人口は9,322人となっています。全国的にも林業が盛んな町であり、特産品として赤身の鮮やかな「木頭杉」が有名です。

2 南つるぎ地域活性化協議会の大きな取り組み内容

南つるぎ地域活性化協議会は、毎年年度初めに開催しています。平成26年度は、4月14日に参加者15名で開催しました。

- (1) 登山道の整備
- (2) 南つるぎ環境活動
- (3) 南つるぎPR活動
- (4) その他イベント

などが決定しました。

(1) 登山道の整備

日本百名山の一つ、四国第2の高峰である剣山を登山する観光客の多くが、北面の見ノ越登山口を利用しています。今回、利用者が少なく整備が遅れている剣山南側地域について、登山道整備や案内板設置の取り組みを行いました。

登山道の整備は、主に鎗戸国有林134林班内の「槍戸口からホラ貝の滝」まで延長2,600mの整備と3ヶ所に標示板を設置し、現在に至っています。

平成23年度から平成25年度までの登山道・案内板の整備の取り組み回数は12回、参加人員約300名で実施しました。整備が遅れていた登山道も見違えるように、整備され、利用者が年々増加傾向となっています。

平成26年度の取り組みとして、7月20日、鎗戸（やりど）国有林135林班にある「次郎笈」（じろうぎゅう）

標高1,930mの頂上に、ボランティア21名により、雷で破損していた案内板を除去



南つるぎ地域活性化協議会



徳島森林管理署も支援協力

南つるぎ地域活性化協議会の取り組み内容



(1) 登山道の整備

剣山を登山する観光客の多くは、北面の見ノ越登山口を主要参道として利用されており、利用者が、少なく荒廃していた剣山南側地域について、登山道整備や、案内板設置の取り組みを行った。




南つるぎ地域活性化協議会の取り組み内容



登山道：ホラ貝の滝コース
場所：徳島県那賀郡那賀町鎗戸国有林134林班
鎗戸口からホラ貝の滝
延長2,600m



南つるぎ地域活性化協議会の取り組み内容



(1) 登山道の整備

年度	取組回数	参加人員
平成23年度	4回	155名
平成24年度	4回	76名
平成25年度	3回	49名
計	11回	280名




し、新たに案内板を設置しました。

(2) 南つるぎ環境活動の取り組みについて紹介します。

① 登山道周辺の樹木をシカの食害から守る取り組みとして、樹木ガードの設置を平成25年度に3回実施しました。

- ・ 第1回目(7月13日)は、民有林を対象として、参加者13名の協力を頂き、樹木ガード及びシカ除けネットの設置を実施しました。
- ・ 第2・3回目(10月27日と12月8日)は、次郎笈への登山口にある「奥槍戸山の家」に位置する鎌戸国有林135林班ろ小班内は、近年シカの食害被害

が著しく、ウラジロモミやブナなどの樹木を対象として、ボランティア参加人員43名の協力により、樹木ガード270本の設置を行う環境活動を実施しました。

※国有林地に使用する樹木ガードの資材等は森林管理署より支給して頂きました。

また、「クリーン・アップ作戦」と名づけている清掃活動は、登山道整備や山でのイベントと併用して実行しています。

平成26年度の取組みとして、鎌戸国有林135林班ハ、ろ小班内の現地地表植生の主構成種であるミヤマクマザサ・スズタケなどササ群落がシカの食害を受け、密度が少なくなっているため、シカ防護ネット設置を計画しました。ササ群落の保護及び回復を図り、土壌の流出を防ぎ、植生を保護することを目的として、ネットの高さ2m、山頂に設置しやすくするため、一辺の長さ20mとする正方形(周囲80m)のシカ防護ネットをモザイク状に4箇所計画しました。7月13日にシカ防護ネット2箇所(延長160m)分を国有林に資材運搬を行い、10月19日、参加者21名の協力を得て設置保護することができました。

② 「平成26年度第1回おひさんプロジェクトの取組みについて

徳島県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「オオヤマレンゲ(モクレン科)」の群落(約200(株))の保護協力を実施しました。この群落は、三好市が、平成24年12月20日に面積2.40HAを文化財に指定し管理しているところです。

徳島県三好市東祖谷菅生(ひがしいやすげおい)三嶺(さんれい)国有林36林班イ小班内、高知県境の「高ノ瀬(こうのせ)」(1,740m)から西へ約800mまでの尾根部分に生息するオオヤマレンゲは、7月頃に直径10cmぐらいの白い花を咲かせます。この花は、美しく「天女の花」とも呼ばれています。このオオヤマレンゲをシカの食害から守るため、ネットの高さ2m、延長650mで周囲を囲っていましたが、冬期にシカの角や食害により穴が開いていました。平成26年6月29日に、ボランティア

南つるぎ地域活性化協議会の取り組み内容



(2) 南つるぎ環境活動の実施

- ・ 登山道周辺の樹木をシカの食害から守る樹木ガードの設置
平成25年に3回実施
7月13日樹木ガード・シカ除けネット設置(民有林) 参加者13名
10月27日 樹木ガード(国有林)110本 15名
12月8日 樹木ガード(国有林)160本参加者21名
※樹木ガード(国有林地)の資材等は森林管理署が提供
- ・ クリーン・アップ作戦
(清掃活動は登山道整備と併用実行)

参加人員12名の協力をいただきまして、ネット補修を行う環境活動の保護協力を実施しました。

(3)「南つるぎPR活動」について紹介します。



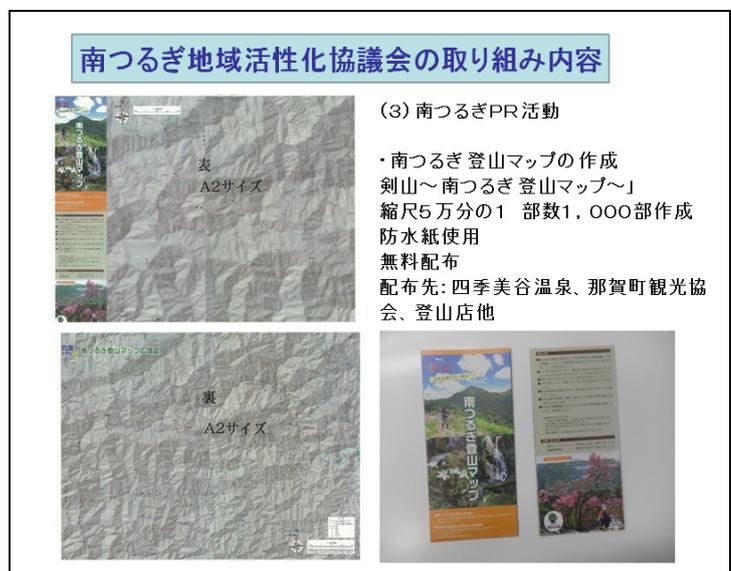
・エコツアーの開催については、「山フェス南つるぎスカイ・ラリー」を企画し、開催により多くの参加者が山を訪れ、清掃活動等ご協力を賜りました。

・公式ホームページの開設については、平成24年3月31日に開設しました。「南つるぎ」で検索しますと右下の画面が現れ活動内容やイベントの情報を見ることが出来ます。アドレスは、「<http://minami-tsurugi.org/>」となっています。

または、「四季美谷温泉」のホームページを開けると右下に「南つるぎ」があり、そこをクリックすると同様に見られます。

・「剣山～南つるぎ登山マップ～」を作成しました。

A2サイズの大きさを折りたたみ出来、表面は縮尺2万5千分の1で表紙と剣山を中心とした地図となっています。裏面は、「南つるぎの広域図」を5万分の1の縮尺にし、「南つるぎ」の山々の全面地図となっており、登り口や登山ルート、道路情報などを盛り込んだマップとなっています。部数は1,000部作成し、登山者の安全を祈り無料配布しています。防水紙を使用していますので雨も平気です。配布先は、四季美谷温泉の受付



及び徳島県南部総合県民局美波庁舎、那賀町観光協会、那賀町役場木沢支所と登山店等のほか、協議会活動でも配布しています。ただし、お一人様一部までとなっています。登山者への反響が大きく、平成25年度に2,000部追加作成しました。

(4) その他イベント

平成23年12月3日～4日、「第1回四国の右下食博覧会 南阿波井祭り」及び「南つるぎ写真パネル展」を美波町の「旧水産高校跡地」で同時開催し、約2万人が集まりました。

このイベントは、シカの有害鳥獣駆除等で発生するシカの肉の需要を因るために、色々なレシピを作り出して消費拡大を行い、ハンターの皆様にシカをより多く駆除して頂こうと企画されました。

現在、人気ジビエ料理メニューは、「鹿焼き肉定食」、「鹿フライセット」、「鹿ロック定食」、ボリューム満点の「鹿肉ロースステーキともも肉竜田揚げ定食」が人気となっています。おいしいですよ！

平成24年12月8日～9日、開催の第2回は「四国の右下」食博覧会と南つるぎPR写真パネル展を海部郡海陽町の「まぜのおかオートキャンプ場」で同時開催し、約2.7万人が集まりました。南つるぎの観光に明るい兆しが見えてきました。

若者向けの新メニューとして、「鹿バーガー」ができました。是非ご賞味いただければ幸いです。

平成26年4月27日、宝の島・徳島「わくわくトーク」を、徳島県的那賀町の「四季美谷温泉」で開催しました。徳島県 飯泉 嘉門知事が、南つるぎ「おひさんプロジェクト」による環境保全活動現場を訪問されました。ボランティアの方とともに植樹を行い、「南つるぎ」の観光集客による地域活性化をより推進しようと参加者10名で熱い意見交換が行われました。

平成26年6月14日、徳島中央ロータリークラブで「南つるぎ」の活動や四季折々の自然や環境保全活動について講演を行い、活動への理解と協力を呼びかけました。

(5) その他（平成26年8月17日の活動協力について）

8月10日の朝、台風11号が来襲し、徳島県内の広い範囲に浸水被害をもたらしました。特に浸水被害が多かった那賀町驚敷地区へ、「南つるぎ」山ツアーの仲間と一緒にボランティアの呼びかけに参加協力しました。参加者13名、大変お疲れ様でした。

3 活動を通して見えてきた課題等

- ① 剣山南面には6本の登頂ルートがあることから、新ルート作設と併せ、その魅力PRと活用を図る必要がある。
- ② 看板や路程表及び注意板がまだまだ不足しているため、自然環境に配慮した木製看板を設置する必要がある。

南つるぎ地域活性化協議会の取り組み内容



(4) その他イベント

- ・平成23年12月3日～4日
「第1回四国の右下 食博覧会 南阿波井祭り」及び「南つるぎ写真パネル展」を同時開催
場所: 美波町「旧水産高校跡地」
参加者: 約2万人

- ・平成24年12月8日～9日
「第2回四国の右下」食博覧会及び「南つるぎ写真パネル展」を同時開催
場所: 海部郡海陽町の「まぜのおかオートキャンプ場」
参加者: 約2.7万人

※南つるぎ観光に明るい兆しが見えてきた。

- ③ 剣山系全体のニホンジカによる食害は深刻であり、樹木ガード等による食害対策を継続実施する必要がある。
- ④ 登山道周辺の樹木等の植生調査の実施が必要。
- ⑤ 手つかずの自然や開けた眺望など、変化に富んだ魅力のPRとマップ・パンフレットの作成などが今後の活動に必要な課題だと考えます。

4 まとめ

「南つるぎ地域活性化協議会」が中心となり、「南つるぎの魅力」を発信してきたことにより、年々、登山者やイベントの参加者が増えてきており、この活動を継続するだけでなく、さらに効果が上がる取組を展開していくことが重要であると考えます。

また、これまでの取組は地元団体と行政が一体となって進めてきたことにより予想以上の成果にも繋がっていることがわかりました。

この活動が自然の魅力を生かした地域活性化に取り組んでいる方々の参考になれば幸いと存じます。

5 今後の南つるぎ地域活性化協議会活動の取り組み予定について

- ① 「登山道の整備」活動の名称を「おひさんプロジェクト」とするエコツアー活動を実施する。
- ② 地元住民及び地域外の住民の協力を求め、登山道の整備、クリーン・アップ作戦（清掃登山）を開催実施する。
- ③ 国、県、NPO、登山愛好家及び大勢のボランティアが協力・支援・連携し、看板等の設置や樹木ガード等設置を継続実施していく。

活動を通して見えてきた課題等

- ① 剣山南面には6本の登山ルートがあることから、新ルート柵設と併せ、その魅力PRと活用
- ② 看板や路程表及び注意板がまだまだ不足しているため、自然環境に配慮した木製看板を設置
- ③ 剣山系全体のニホンジカによる食害は深刻であり、樹木ガード等による食害対策継続
- ④ 登山道周辺の樹木等の植生調査の実施
- ⑤ 手つかずの自然や開けた眺望など、変化にとんだ魅力のPrとマップ・パンフの作成

まとめ

協議会 → 南つるぎの魅力発信

効果：登山者やイベント参加者増

重要ポイント:この活動を継続するだけでなく、更に効果が上がる取組を展開していくことが重要
また、地元団体と行政が一体となって進めてきたことが、予想以上の成果につながっている

※この活動が自然の魅力を活かした地域活性化に取り組んでいる方々の参考になれば幸いです



看板等の設置

- ④ ホームページの随時更新を行い最新の情報を発信する。
- ⑤ 登山マップ等を作成し、安全な登山者等に無料配布を行う。
- ⑥ 野生鹿の食材転用の周知と促進を目的とする「きさわ鹿の森フェスタ：通称ジビエ祭り」を開催していく。
- ⑦ 鹿による食害や対策の紹介などを含めた「写真パネル展」を開催する。

今後の活動予定

- ① 「登山道の整備」活動の名称を「おひさんプロジェクト」とするエコツアー活動を実施
- ② 地元住民及び地域外の住民の協力を求め、登山道の整備、クリーン・アップ作戦(清掃登山)を実施
- ③ 国、県、NPO、登山愛好家及び大勢のボランティアが協力・支援・連携し、看板等の設置や樹木ガード等設置を実施
- ④ ホームページの随時更新を行い最新の情報を発信
- ⑤ 登山マップ等を作成し登山者等に無料配布
- ⑥ 野生鹿の食材転用の周知と促進を目的とする「きさわ鹿の森フェスタ：通称ジビエ祭り」を開催
- ⑦ 写真パネル展の開催(鹿による食害や対策の紹介など)る食害は深刻であり、樹木ガード等による食害対策継続

最後になりましたが、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

徳島市より那賀町までお車で約1時間の場所ですが、皆様のお越しを心よりお待ちしております。